

考古学からみた中世の緡銭

嶋谷和彦（堺市立埋蔵文化財センター）

1、はじめに

2、緡銭の作成

文と貫（千文＝一貫）、連と結（十連＝一結）

百文緡と一貫文緡

一緡（百文）の作成方法 — 大阪府・吉野遺跡

一貫文緡の作成方法 — 山梨県・小和田館跡

『山王靈驗記』

3、銭塊の梱包と運搬・保管

広島県・草戸千軒町遺跡

『舟木本洛中洛外図屏風』・『山王靈驗記』

草戸千軒町遺跡出土木簡 — 五貫文の意味、半割符との関連は？

4、一緡（百文）の枚数

『大乘院寺社雑事記』 — 省陌法と丁百法

東北地方北部・九州とその中間

同一地域における存在形態（機能）による差異 — 青森県・浪岡城跡

5、おわりに

- 石井 進 1988年 「銭百文は何枚か」 『信濃』No40-3 信濃史学会
- 工藤清泰 1996年 「私は緑の銭（じえんこ）が好き！ —中世埋納銭の一考察—」 『年報・市史ひろさき』No5 弘前市史編さん室
- 小宮山 隆 1996年 「小和田館跡出土銭」 『出土銭貨』No5 出土銭貨研究会
- 嶋谷和彦 1997年 「中世の“地鎮め”と銭貨」 『出土銭貨』No7 出土銭貨研究会
- 嶋谷和彦 近刊予定 「銭貨の流布—緡銭を中心に—」 『図解・日本の中世遺跡』 東京大学出版会
- 出土銭貨研究会 1996年 『備蓄銭とその出土状態—緡銭の復原・備蓄銭の歴史的背景—』
- 高橋照彦 1998年 「東ねられた銭“銭緡”」 『お金の不思議—貨幣の歴史学—』 山川出版社
- 辻本 武 1995年 『吉野遺跡発掘調査概要・Ⅲ』 大阪府教育委員会
- 辻本 武 1995年 「中世備蓄銭の緡銭における裏表の連続は偶然か作為か」 『大阪府下埋蔵文化財研究会（第32回）資料』 大阪府文化財調査研究センター
- 福島政文 1994年 「一括出土銭について」 『草戸千軒町遺跡発掘調査報告Ⅱ 北部地域南半部の調査』 広島県草戸千軒町遺跡調査研究所
- 福島政文 1994年 「緡銭の調査—広島県草戸千軒町遺跡の場合—」 『中世の出土銭』 兵庫埋蔵銭調査会
- 渡 政和 1993年 「絵画資料にみる中世の銭（上）—緡銭の表現を中心に—」 『研究紀要』No15 埼玉県立歴史資料館
- 渡 政和 1994年 「絵画資料にみる中世の銭（下）—緡銭の表現を中心に—」 『研究紀要』No16 埼玉県立歴史資料館
- 渡 政和 1996年 「中世文献史料における“緡銭”表現について」 『出土銭貨』No5 出土銭貨研究会
- 渡 政和 1996年 「銭貨—考古・文献・絵画資料からみた緡銭の表現—」 『歴史手帖』No24-7 名著出版



1 主要な大量一括出土銭

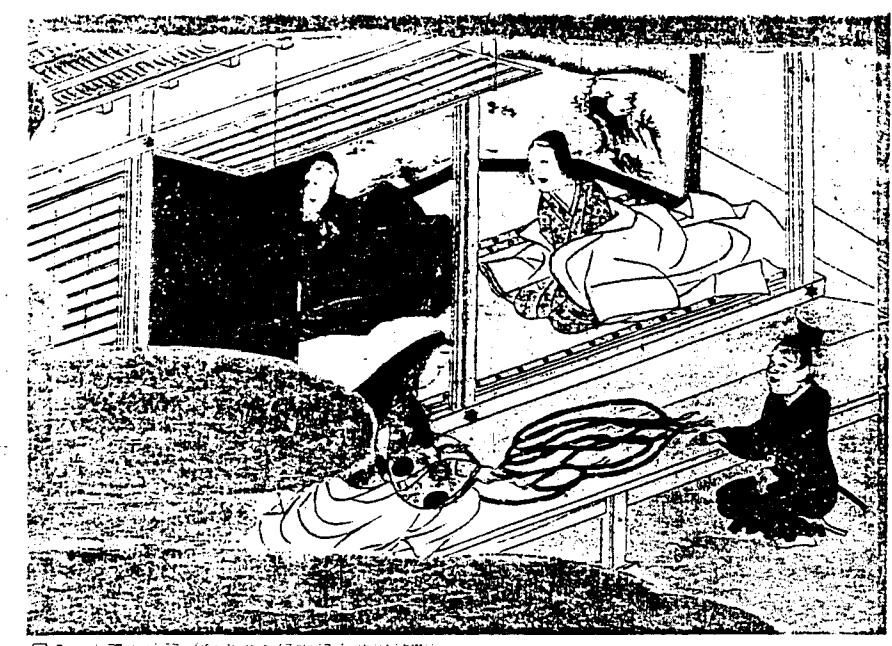
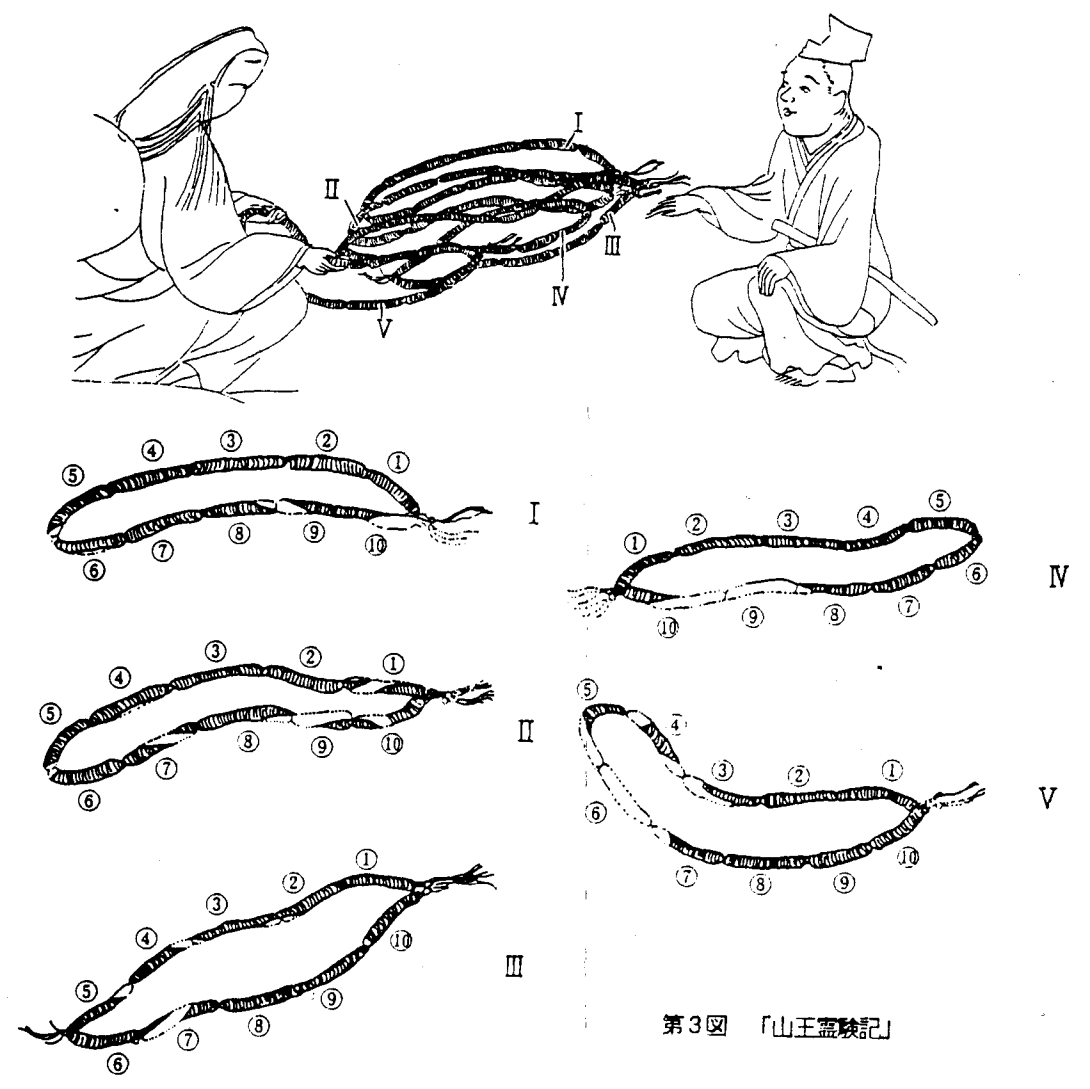
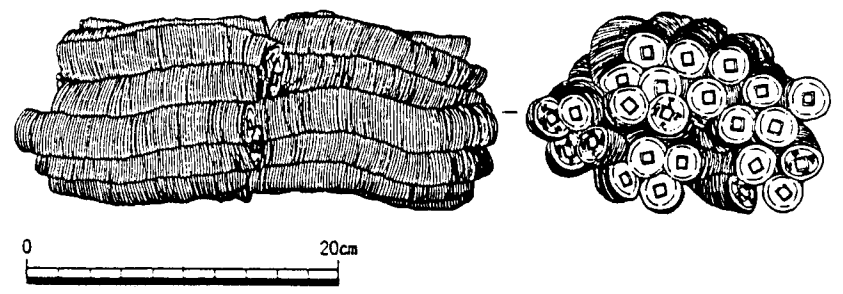
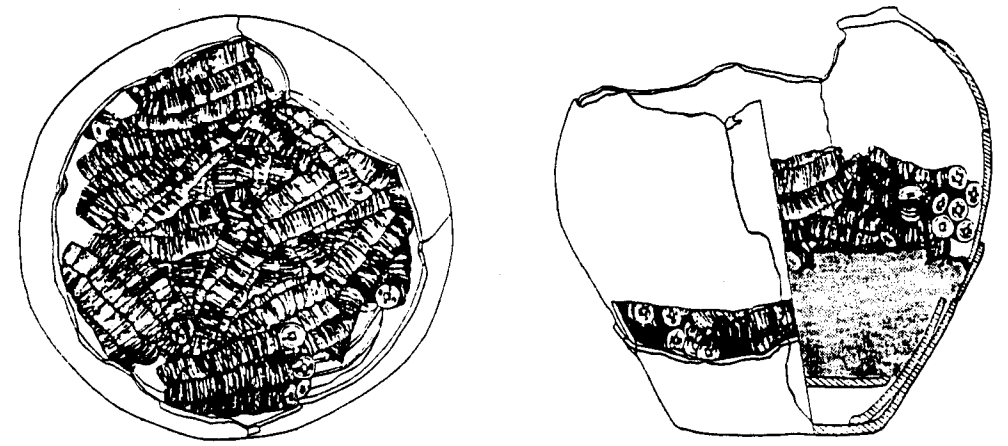


図7 山王靈驗記(和泉市久保記念美術館蔵)

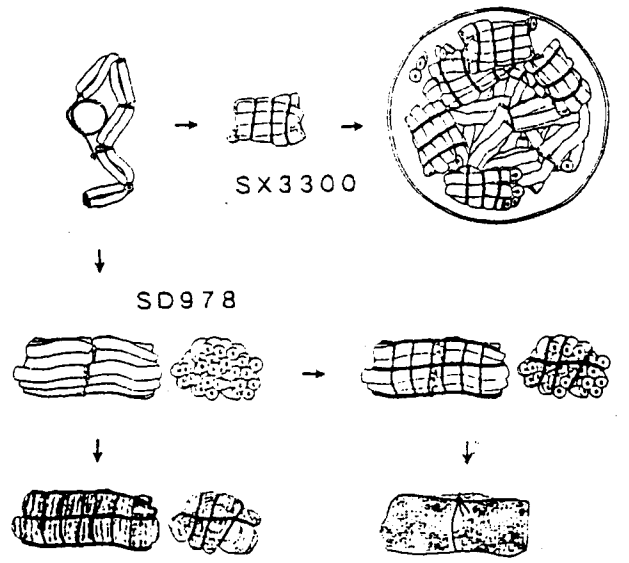




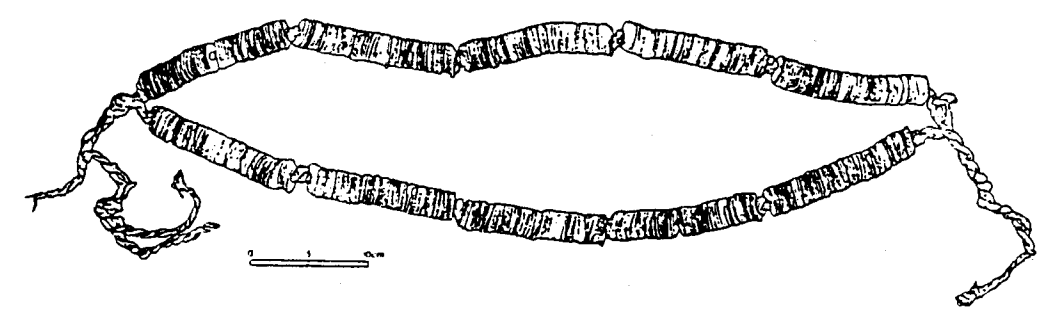
第1図 SD978の銭塊



第2図 SX3300の銭塊



第3図 銭塊復元状況



第4図 山梨県長坂町小和田館跡出土の織鉄測図

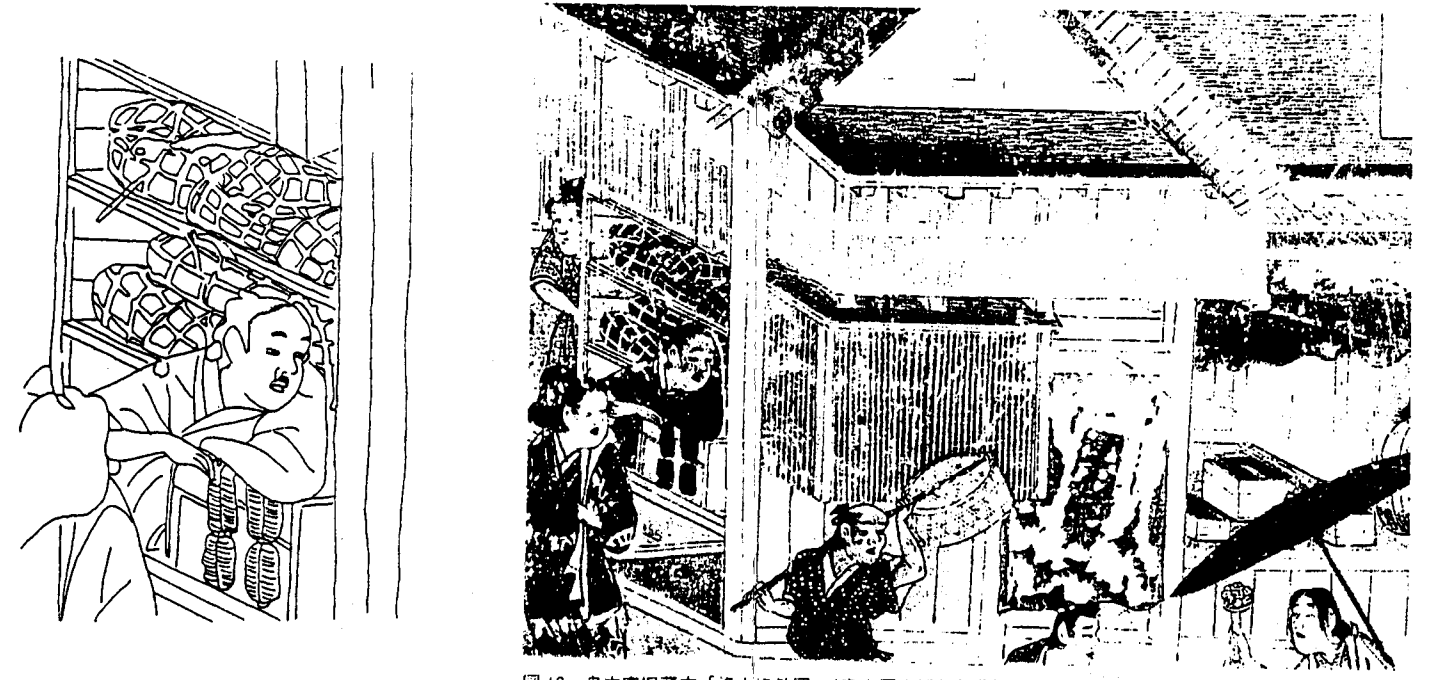
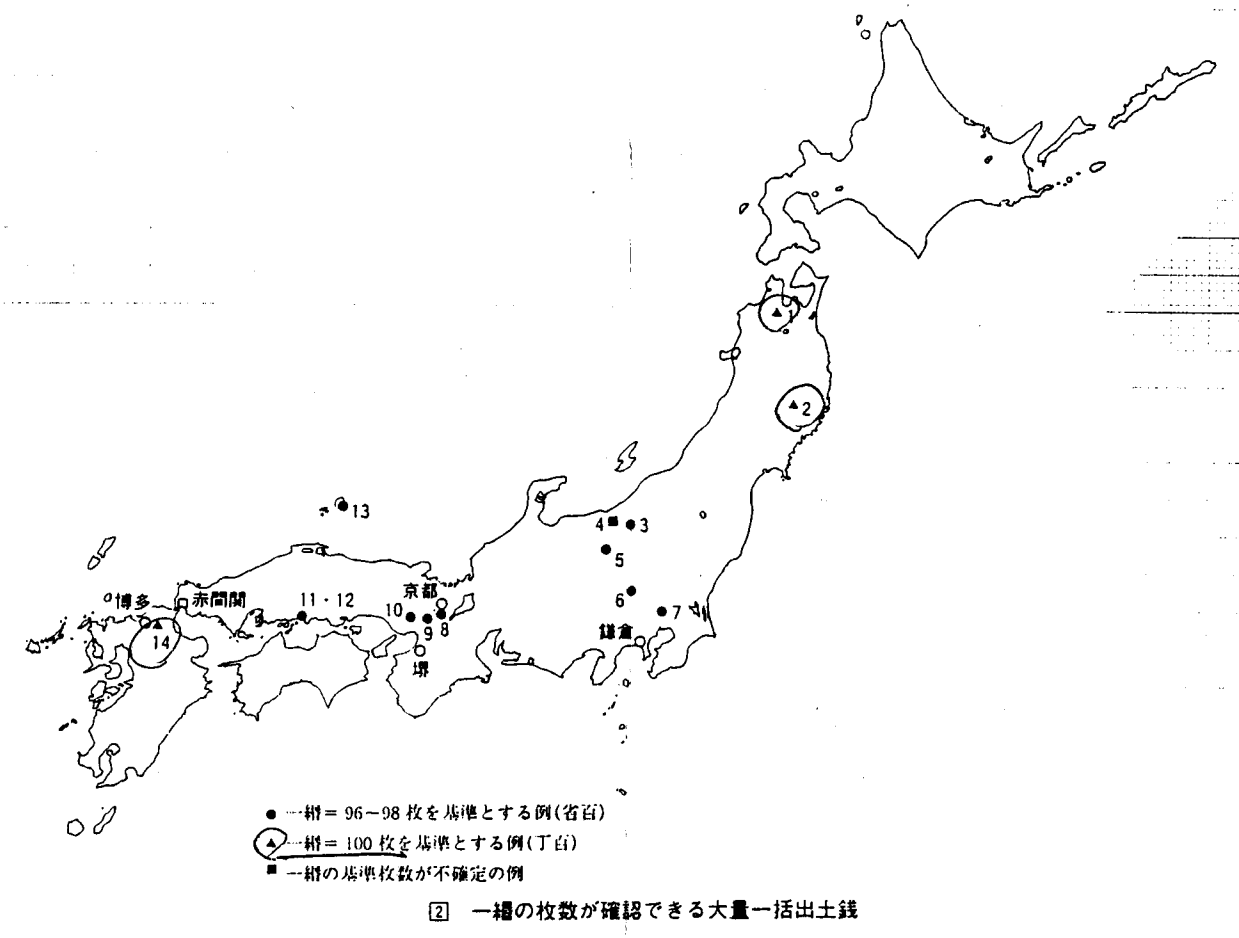


図10 奥土家田蔵本「洛中洛外図」(東京国立博物館蔵)

表一 一箱の枚数が確認できる大量一括出土銭

地図番号	遺跡名	埋蔵状況	年代	一箱の枚数														箱数	銭枚数	平均枚数	最新銭	総枚数										
				以下	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99						100	101	102	103	104	105	106	107	以上	
1	青森県・浪岡城跡	ピット	15世紀中頃		1		1			1	1				1	1	5	36	3	1				1	53	5,268	99.4	水楽通宝	5,971			
2	岩手県・笹間館跡	ピット	15世紀中頃													1	1		1					3	301	100.3	水楽通宝	463				
3	新潟県・石白2号箱	木箱	15世紀後半							2	2	7	4	7	2	3								27	2,593	96.0	朝鮮通宝	101,912				
4	新潟県・小重遺跡	曲物	16世紀後半	39		3	1	4		1	2	3	3	6	19	4	2	1		1	2	1		29	121	12,765	105.5	弘治通宝	28,758			
5	長野県・西条岩船遺跡群	木箱	14世紀中頃		1		1	2	1				8	3	7	238	29	11	8	7	3	2	1	7	5	4	7	345	33,752	97.8	至大通宝	約37,000
6	山梨県・小和田館跡	瀬戸焼壺	16世紀初頭													10								10	970	97.0	宣徳通宝	4,192				
7	埼玉県・白子	常滑焼壺	16世紀初頭													1	14							15	1,454	96.9	宣徳通宝	114,368				
	神奈川県・小浜森地内遺跡	曲物	16世紀初頭	6		1	1		1						1	1	42							53	4,843	91.4	宣徳通宝	4,843				
	三重県・藤宮跡第14次	土坑	14世紀中頃	10		1	1		1	1	4	8	7	9	17	5	6		2	2			1	1	120	11,501	94.8	至大通宝	11,576			
8	京都府・平安京左京八条三坊七町	曲物	14世紀中頃	10		1	3	2	3	5	3	3	7	4	31	4	2	1	3	3	1			1	2	8	97	9,384	96.7	至大通宝	16,880	
9	大阪府・吉野遺跡	丹波焼壺	14世紀前半												9									9	873	97.0	咸淳元宝	1,214				
10	兵庫県・南台遺跡	須恵器壺	14世紀中頃	4		1	1	2				1	1	4	44	3	1	1	1				1	1	66	6,321	95.8	至大通宝	6,384			
11	広島県・草戸千軒町遺跡第29次	溝	(不詳)						1	4	3	2	3	4	11									28	2,662	95.1	(未分銅の) 為不詳	約5,000				
12	広島県・草戸千軒町遺跡第35次	亀山焼壺	14世紀前半	3		2	1	4		1	8	3	15	67	12	3	1	1	1	1	4		1	2	130	12,591	96.9	沖祐元宝	12,591			
13	鳥取県・宮尾遺跡	曲物	16世紀初頭										1		1	1								3	290	96.7	宣徳通宝	8,716				
14	福岡県・大宰府条坊跡第83次	ピット	14世紀中頃	1													7							1	1	10	999	99.9	至大通宝	999		
	福岡県・真奈板遺跡	土坑	12世紀後半													1	2							7	689	98.4	建永通宝	3,908				

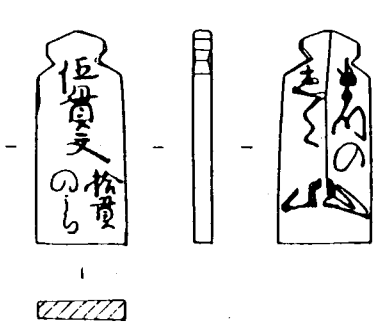
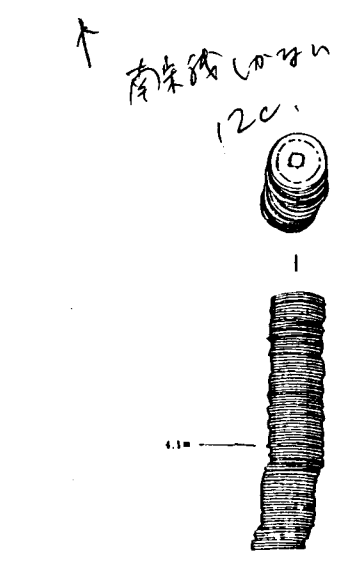
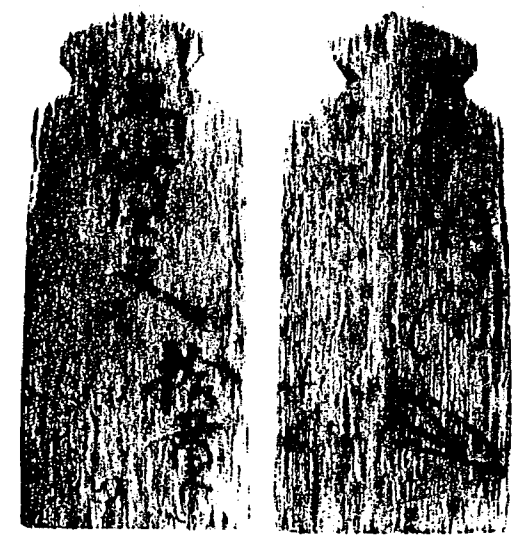
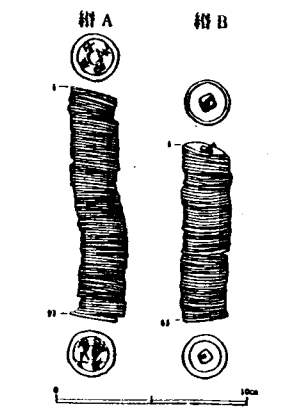


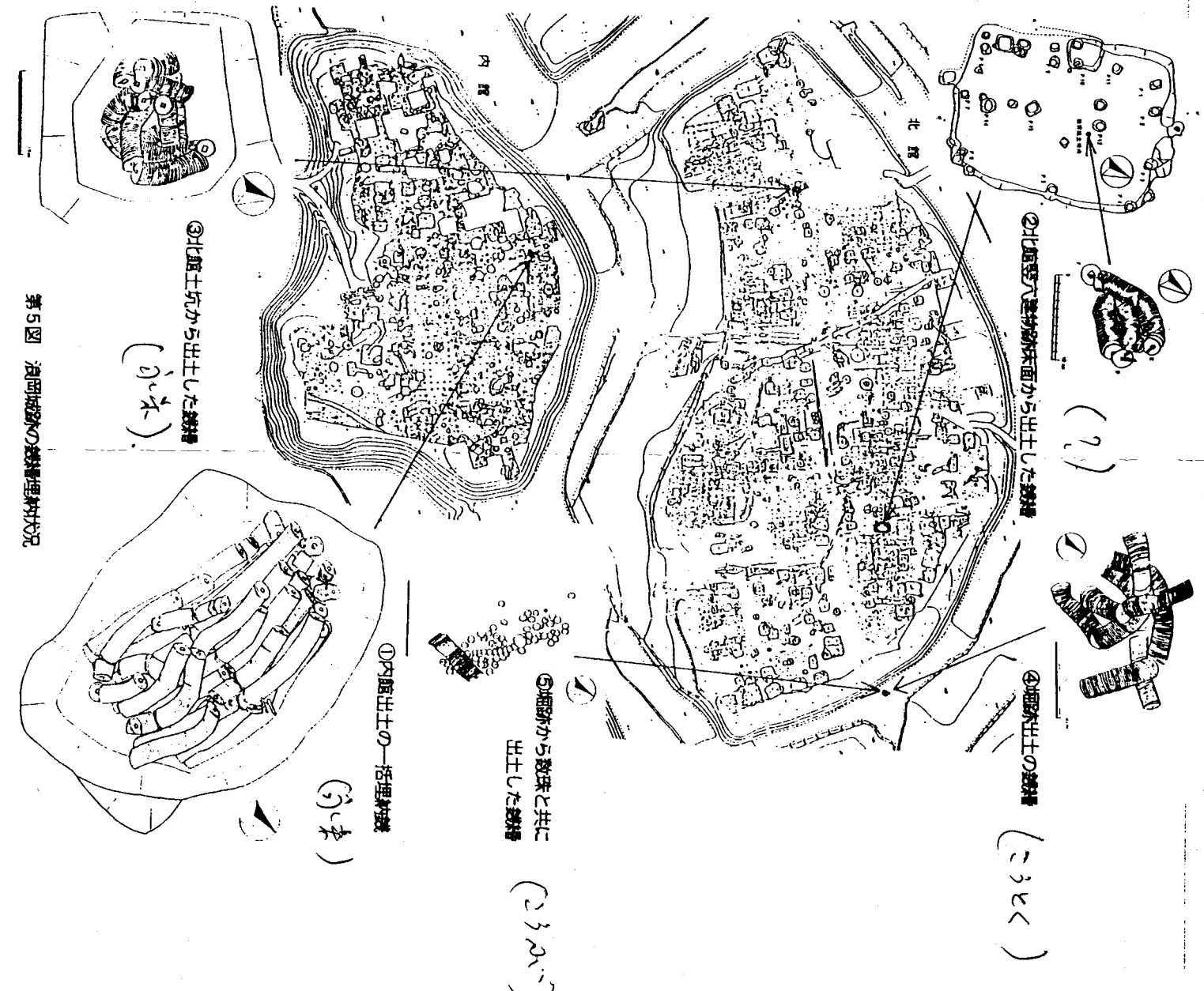
図3 草戸千軒町遺跡出土木筒
実測図(縮尺は約1/2、『報告II』205頁より転載)



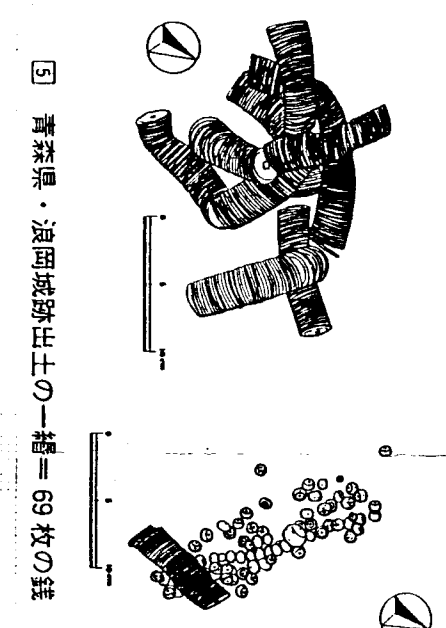
③ 岡山県・津寺遺跡出土の一箱=96枚の銭



④ 栃木県・上芝遺跡出土の一箱=97枚の銭



第5図 浪岡城跡の銭壺埋藏状況



⑤ 青森県・浪岡城跡出土の一箱=69枚の銭